

医療生協さいたまの正式名称は、「医療生協さいたま生活協同組合」と言います。

医療生協は「安心して医療・介護を受けたい」と願う人たちによって作られました。医療生協に加入した組合員と医師・看護師・事務職員が協力して、病院・診療所・老健施設などを運営しています。組合員は、事業所の利用とともに、健康づくりや助け合いの活動を行います。医療生協に加入するときに出資する資金やその後の増資金（出資金）が病院や診療所の改築や新設、医療機器の購入、医師・看護師の研修などの元手になります。出資金は、寄付やカンパと違い、組合員の積立金として預けられ、組合員をやめる時には、返却されます。

医療生協さいたまは、約24万人の組合員と約2,700名の職員で運営されており、出資金総額65億円を超える日本で最も規模の大きな医療生協です。和光支部は、2017年3月18日、朝霞和光支部から分割して結成されました。



医療生協さいたま 南西部地区 和光支部

2018年度総会議案書



と き 3月23日(土) 10時~13時
と ころ 白子コミセン 3階 視聴覚室

医療生協さいたま 南西部地区 和光支部

2019年度総会議案書



と き 2020年5月23日(土) 10時~13時
と ころ 白子コミセン 3階 視聴覚室

医療生協さいたま 南西部地区 和光支部

2022年度総会議案書



と き 2023年9月25日(土) 10時~13時
と ころ 白子コミセン 3階 視聴覚室

医療生協さいたま合併30年記念「SDGsフォトアワード」入賞作品

グランプリ 幸せのおすそ分け



多世代ふれあい食堂「HAPPY くまここ」にはすてきな小学生のボランティア
がいて、美味しいおかずと笑顔（幸せ）をお届けしています

岸本治憲（はるのり）さん作



医療生協さいたま合併30年記念「SDGsフォトアワード」入賞作品

準グランプリ 流木も遊び道具



どこからか流れついた流木はしっかりしていて、3歳の妹が登り棒として遊びました。びっくりするくらい高く登っていたので写真に残しました。こんな流木でも遊び道具になるので、海って偉大だなと思いました。

倉橋福都さん（12歳）作



医療生協さいたま合併30年記念「SDGs フォトアワード」入賞作品

準グランプリ 私達の平和



風力発電は二酸化炭素の排出を抑えるメリットがあります。まわりの山は気候変動の要因とされる二酸化炭素を吸収して地球を守ってくれます。平和のシンボルひまわりはここを穏やかにしてくれます。子供たちの未来を希望で溢れさせましょう！

和合美和さん作



医療生協さいたま合併30年記念「SDGs フォトアワード」入賞作品

準グランプリ 埼玉協同病院産婦人科・小児科 いのちのSAMBA9条の会



“いのちのSAMBA9条の会”は2005年に結成されました。赤ちゃんの足型とスタッフの手形をあわせて、平和のタペストリーを作成しました。この子たちが歩む未来が明るく平和でありますように！ 生まれてくるすべての命が大切に育まれる世界でありますように！





1



2

わっほっほ



3



4

医療生協



6

牧野博士の銅像前

和光支部



5



7



8

ヘルスチャレンジ
6年連続
目標達成



9

主な活動

「けんこうと平和」(本部ニュース)と
「わのわ」(支部ニュース)の組合員さん宅毎月配布

- 健康チェック①
- 健康まつり②
- ゼロ円交換会③
- 健康麻雀④
- 学習会⑤
- ウォーキング⑥⑦
- ロングピロピロ⑨